



SAP Ariba 

機能の概要

サードパーティの請求書の税計算に関する機能強化

Johan Holm、ソリューション管理、SAP P&E

一般提供予定: 2020 年 5 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: サードパーティの請求書の税計算に関する機能強化

今までの課題

請求書の税額計算にサードパーティの税額計算システムを使用している場合、計算された税の詳細が請求書に記載される税よりも詳細なものとなる傾向があります。その結果として、請求書処理時に必要以上の請求書照合例外が発生し、経理部門が後で不一致を照合することが困難な状況となっています。

SAP Ariba で問題解決

サードパーティの税額計算システムを使用している場合に、そのシステムでインターフェイスを使用して、請求書に記載される税と同じ詳細レベル、さらにはそれよりも詳細なレベルで税額を取得できるようになります。これにより、例外処理を効率化しながらも、税についてより詳細な情報を得られるというメリットも維持することができます。

税の詳細が請求書照合 (IR) 申請に表示され、必要に応じてユーザーが確認できるようになります。IR 申請が承認されると、税額計算システムにより、支払いを転記するために必要な税詳細が ERP システムに送信されます。送信される詳細には、バイヤーが税務当局に直接支払う税の未払い分などの未払税情報が含まれます。

主なメリット

この機能を利用することで、サードパーティの税額計算プロバイダを使用して税を管理する場合の請求書処理時間を大幅に短縮すると同時に、より詳細な税情報を取得することができるようになります。

対象ソリューション

SAP Ariba Buying and Invoicing

関連情報

この機能は、該当ソリューションを使用しているすべてのお客様がすぐに使用できますが、お客様が有効にする必要があります。

前提条件と制限事項

- この機能は、サードパーティの税ソリューションと連携されている SAP Ariba Buying and Invoicing サイトに適用されます。
- 現時点では、SAP Ariba Cloud Integration Gateway でのこの機能はサポートされていません。この機能では、SAP Ariba Buying and Invoicing と ERP システム間のカスタムデータのマッピングが必要です。

機能の概要

概要: サードパーティの請求書の税計算に関する機能強化

SAP Ariba Buying and Invoicing では、以前から、購入申請や請求書の処理で税を計算するためにサードパーティの税額計算システムを使用したり連携させたりする機能が用意されています。

この機能を導入することにより、以下の領域の機能が強化されます。

1. 税額計算システムを使用して適切な詳細レベルで税を計算するための追加の詳細を API 要求に含めることで、請求書処理をより迅速に行うことができます。
2. 税額計算システムにより、税総計と税の詳細な内訳の両方が返されます。
3. 同じ API を呼び出して転記の詳細を要求することができます。税額計算システムで税が再計算され、適切な転記詳細が返されます。
4. 税の転記に関する詳細が、承認済みの請求書と一緒に ERP に送信されます。SAP を使用していない場合は、[前払いおよび税を含む支払申請をエクスポートする] という新しいエクスポート機能に税の詳細が含まれます。

